

故、かえって生徒のいろいろな面を知ることでもできるが、反面、さばる口実を与える所にもなる。従って、他の先生との連絡を密にし、生徒一人一人を把握していかなければならない。が、それは、むずかしく、こ

こにあげただけでも、問題点は様々である。

今後は、これらの問題について、少しずつ、調査、検討を重ねていきたいと思う。

〔Ⅷ〕 高校生の進路選択について

白 井 宏

昨年度(51年度)高校3年生を担当することになったのを機に、高校生の進路選択の状況、進路指導のあり方等について、ケーススタディ的に、そしてかなり長期的に(大学卒業、就職という時点まで)追跡してみようと考えた。本稿ではその初年度における研究結果の素描を報告し、現時点におけるわれわれの問題意識を整理してみたい。

(1) 進路選択の現状

本校では卒業生の殆どが進学する(51年度は138人中1名のみ就職)。従って進路指導とは概ね進学指導ということになる。そこでわれわれは、生徒各自の人生選択と大学選択とをどのように重ね合わせて行くかということを進路指導の最重点目標として設定した。そしてそのためのアンケート調査や面接指導を何度か積み重ねたが、結果としては成功したとは言いがたい。つまり、入試の最終段階に近づくにつれて、われわれも生徒も、結局は、進学予備校や受験企業の作った合格難易度ランキング表等による大学選択へ指導や関心へ力点を移さざるを得なくなったのである。又「〇〇大学ならば何学部でもよい。」という考え方も、学歴社会の現状を考えると、完全に無視否定できるものではないというのが本音である。

(2) 進路選択の条件

条件は大きく分けてア 内的条件、イ 外的条件の2つに大別され、さらにそれぞれについて細かく分けられる。

- ア 内的条件— 好み・希望・夢
それらの発生・持続・挫折などの現象とその要因。
- イ 外的条件— 家庭 生活階層・地域的風土・保護者の職業・兄弟の数等。
社会 男女の性差
学校 教科(得意不得意・好き嫌い)・教師の指導・友人の

助言等。

その他 受験雑誌の情報・進学塾
模擬試験の結果と判定等

これらの諸条件はそれぞれが複雑に絡み合いつつ、微妙に進路選択のダイナミズムを形式している。生徒の書いた作文や面接の際のことばなどから、非常に大きな要因として浮かびあがってくるもののひとつは、教科である。ある教科に対する得意不得意、好き嫌いそれと、大学学部の入試科目の数、内容の特徴、ある教科で受験することの有利不利。そういう教科に関する条件は非常に大きいと考えられる。

(3) 受験生の精神状態

受験生活(あるいはもっと大きく高校生活)を表わすことばとして、「灰スクール」「四無主義」「受験戦争」などということばが使われるようになってすでに久しい。「大学入試」という現象をことさら過少評価するつもりは全くないが、われわれ大人やマスコミがこういう激越なことばで呼んではいないが、当の本人、受験生達はもっと違った意識を持って過しているのではないだろうか。担任としての私の一つの感想である。

高校3年生というものはこういう立場であると半ば当然のことと考え(「受験体制」や入試のための勉強の意味)などについてはあまり考えず、入試あるいはそのための勉強を必要悪のように考え、首尾よく合格すれば、その苦しかったことも、ある懐しさをもったひとつの思い出とする。そういう態度がかなり見受けられるように思える。

次に示すのは「私の進路—過去・現在・未来」という題で12月に書かれた作文の一部である。

「過去……私、先生になりたくってさあ、コンピューターの占いをしたら「教師とか社会的奉仕をする職業に向いている」って出たもんだから。私にはこれしかない、などと思ったり……目をつむれば生徒を教えている自分の姿がありありとうかんだり……とにかく自分勝手に満足しておりました。(中略)

未来……とにかくどっかにひっかかりたいと思います！私、結婚しても勉強はしていきたいけど、職業は持ちたくないなあ。もし、だんな様に先立たれた場合を考えて、資格はとりたいなあ……。海外出張のできるだんな様と結婚してしばらく海外にいらして……

このお正月はテレビからもラジオからも遠ざかって……実力ではなく運で合格しようと、必死でお宮を巡ろうと思います。ナドト、番ぐるわせをねらう私です。」
もちろん、ユーモアの中に自分の苦しみを紛らして

いるのだとは言える。そして、日本全体を見れば、非行や自殺などという実に悲惨なドロップアウト現象が確実に増加しているということも事実である。しかし一方で、この1年間、文化祭、体育大会、クラス対抗球技大会、ファイヤーストーム、そして卒業式に至るまで、学校行事のすべての面にわたって、3年生が中心となってそのそれぞれを実に楽しいものにしてきた、それもまた事実である。今後もう少し掘り下げて考えたい。